

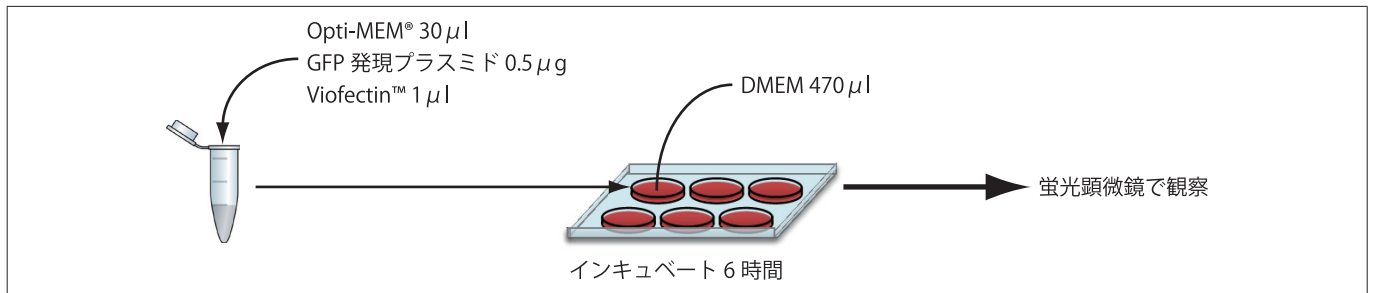
HEK293FT 細胞、HuH-7.5 細胞、HuH-7w 細胞

データご提供：京都大学 ウイルス研究所 がんウイルス研究部門 ヒトがんウイルス研究分野 土方 誠 准教授

使用製品：Viofectin™ Transfection Reagent
 評価方法：蛍光顕微鏡観察 ※他社製品比較あり

■ 実験概要

Viogene 社トランスフェクション試薬 Viofectin™ の性能を試験するために、3 種類の細胞に GFP 発現ベクターを導入し、導入効率を測定した。

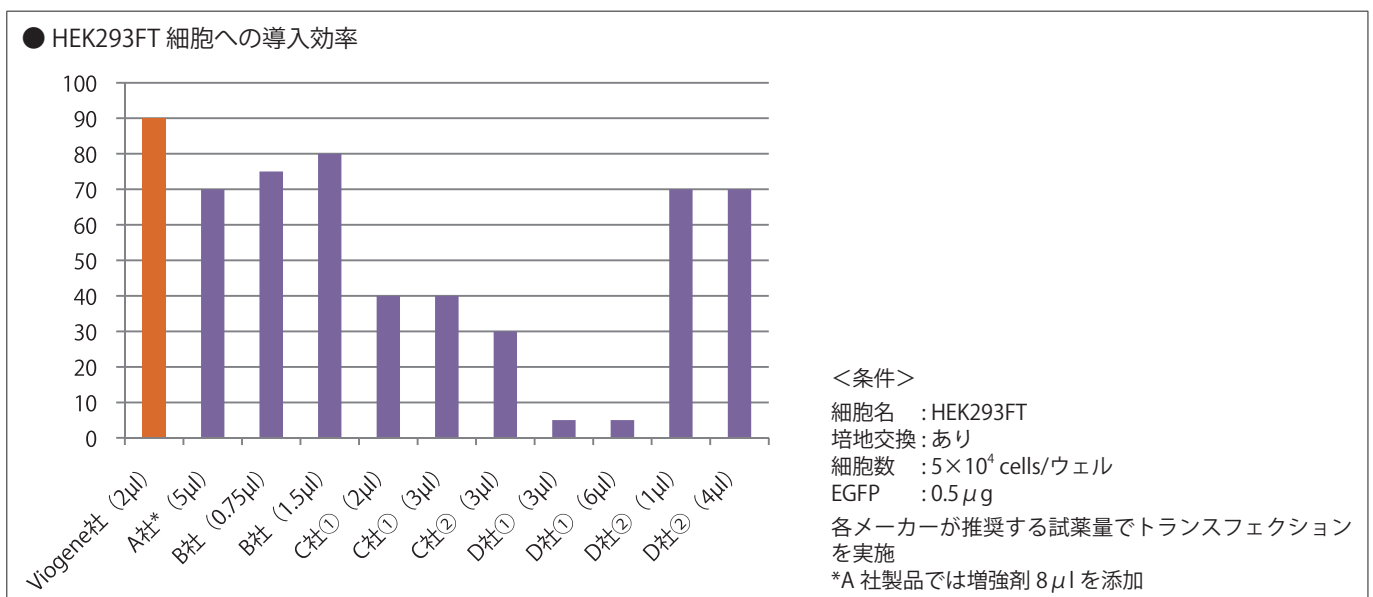


■ 実験結果

Viofectin™ 性能評価：3 種類の細胞に対する導入効率

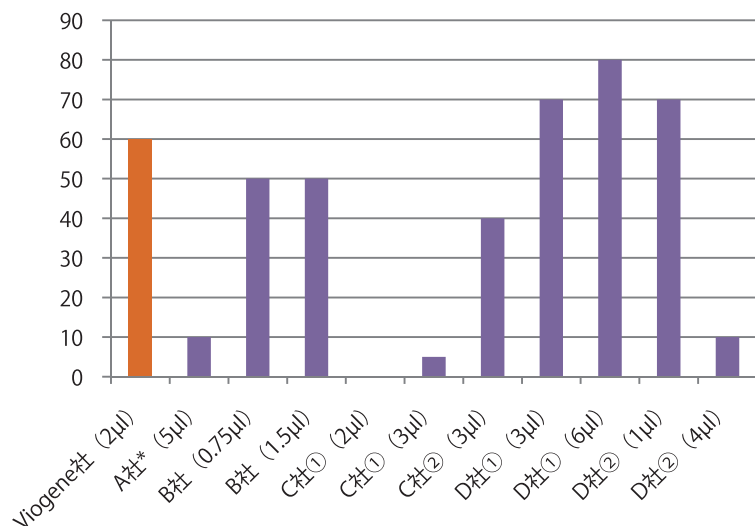
細胞名	HEK293FT	HuH-7.5		HuH-7w	
細胞数	5 × 10 ⁴ cells/ウェル (500 µl)				
試薬量	2 µl				
培地交換	+	+	-	+	-
導入効率 (%)	90%	60%		70%	50%
導入画像					

他社製品との比較



他社製品との比較(つづき)

● HuH-7.5 細胞への導入効率



<条件>

細胞名 : HuH-7.5

培地交換 : なし

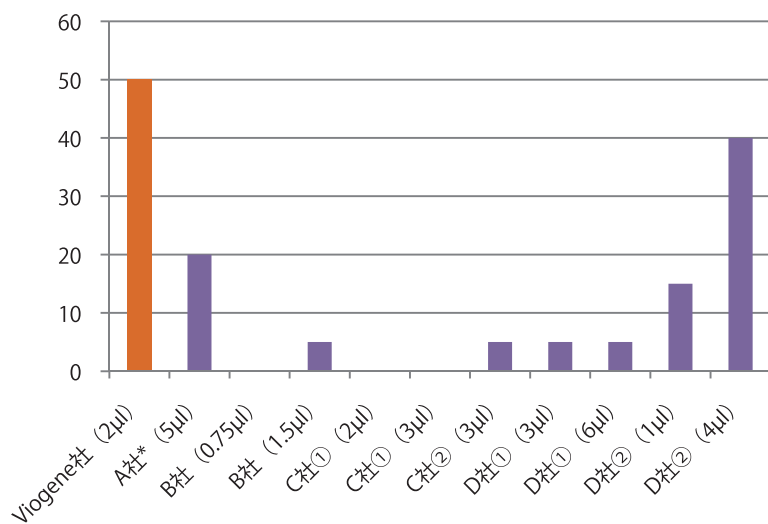
細胞数 : 5×10^4 cells/ウェル

EGFP : $0.5 \mu\text{g}$

各メーカーが推奨する試薬量でトランスフェクションを実施

*A社製品では増強剤 $8 \mu\text{l}$ を添加

● HuH-7w 細胞への導入効率



<条件>

細胞名 : HuH-7w

培地交換 : なし

細胞数 : 5×10^4 cells/ウェル

EGFP : $0.5 \mu\text{g}$

各メーカーが推奨する試薬量でトランスフェクションを実施

*A社製品では増強剤 $8 \mu\text{l}$ を添加

■ 使用者の評価

3種類の細胞を Viofectin™ で導入した結果、細胞毒性は観察されず、HEK293FT 細胞および HuH-7w 細胞では他社トランスフェクション試薬と比べると高い導入効率を示した。また、HuH-7.5 細胞でも比較的高い導入効率を示した。